

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

アイデアを出し合う／丸亀市立城坤幼稚園（香川県）

子どもたちが自由にイメージを膨らませたり、独自の発想で遊び方を考えて進めたりする「遊び」。今回の事例は、子どもたちが遊びの中で、「自分たちの思いを実現しようと、どれほど真剣に試行錯誤して進めているか」「子ども同士で思いや考えを出し合って、どのように主体的・協働的な学びをしているか」を捉えることができます。



● 「冷たいアイスを作ってみよう！」／5歳児

✦ きっかけ／6月

子どもたち数人が紙でアイスを作り、アイス屋さんになりきって友達とのやりとりを楽しんでいる。数日、アイス屋さんを楽しんだ後の暑い日、保育者が、「今日は暑いから、冷たいアイスをください」と、アイス屋さんの子どもに注文する。子どもたちは、「冷たいアイスを作ってみよう！」という目的に向かって、アイデアをいろいろと出している。

✦ アイデアその1

冷たい＝冷蔵庫とイメージする。

「（紙の）アイスで冷蔵庫で冷やそう！」



職員室の冷蔵庫にしばらく入れる。

結果 「これ冷たくないわ」



✦ アイデアその2

冷たい＝水をイメージする。

「（紙の）アイスで水で冷やそう」



水道の水で濡らす。

結果 「なんか気持ち悪い」「ちょっと冷たいけどなんか違う」

保育者：「アイスってどんな風に冷たい？」

子ども：「めっちゃ冷たい」

子ども：「ヒヤッて冷たい」

保育者：「ヒヤッて、冷たくするのはどうしたらいいんだろう？」

子どもたちは、友達同士考え合う。

✦ アイデアその.

「氷の上に紙を置いて冷たくする」「でも紙って濡れたら破れるような…」



氷の上に紙を置く。

結果 「ヒヤッと冷たくなった!」「でもやっぱり気持ち悪い」

しばらくアイス屋さんで使っていると事件が…

子ども: 「先生! アイスがボロボロになりよる!!」

子ども: 「やけん、破れる言ったやん!」



✦ 問題



「破けんのはどうしたらいいやろ」



「ラップで包む」

「布使ったら良い」

「コップに入れて凍らしたら?」

✦ アイデアその4

家で実験してきたAちゃん

「昨日な、タオル濡らして冷凍庫に入れたら冷たくなったんで!」

「濡らさんかったら冷たくならんかったわ」



タオルを濡らして冷凍庫に入れる

結果 「冷たくなった」

「アイスみたいにヒヤッとする!」

「これやったら破けんでいいな」



✦ 問題

「でも丸くないよ?」

「どうしたら丸くなるかな?」

✦ アイデアその5

「(クシャクシャと) 丸めて冷凍庫に入れたらどうかな?」

結果 「ちょっと丸くなったよ」

✦ 問題

「(溶けてきて) でもすぐに広がってしまったわ」

✦ アイデアその6

ベランダに吊るしてある てるてる坊主を見て、

Bちゃん：「てるてる坊主の顔ってアイスみたい」

Cちゃん：「“てるてるアイス”やな」

Aちゃん：「布で、てるてる坊主作ったらええやん」

話し合っってアイスを作る。

結果 冷たい“てるてるアイス”が完成する。

この後、他にもみんなでアイデアを出し合っって、いろいろなアイスを作った。



✦ 考察と今後の保育

「冷たいアイス作り」に夢中になって取り組む5歳児の興味は、探究へと深まった。子どもたちが納得いくまで取り組む時間と空間などの環境が保障されていた。さらに、思いや考えを受け止め、援助してくれる保育者と、とことん一緒に考えてくれる友達がいることで、発想がどんどん生まれていった。うまくできた時より、できなかった時の方が学びはよりたくさんあり、不思議体験がまた次の意欲へと繋がっていった。その一つ一つの過程を大切にしていくような保育に、これからも取り組んでいきたい。

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」